

公表) 放課後等デイサービスにおける自己評価結果

事業所名		公表日			令和8年3月20日	
みずたま						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0		
	2	利用定員やお子様の状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0		
	3	生活空間は、お子様にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	3		●トイレが和式しかない。車椅子使えない ●段差があるため、昇り降りしやすいように段をおいている。 ●段差危ないな。見ておく。 ●トイレ(洋式)が簡易的なものが置かれているため、子どもたちは難しそうである。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、お子様達の活動に合わせた空間となっているか。	5	3		●最大限清潔にしている。 ●活動によっては狭く感じることもある。
	5	必要に応じて、お子様が個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0		●知っている情報が偏らないように、なるべく多くのスタッフで引継ぎをしている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1		●第3者が誰なのかよくわかりません
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0		
	12	個々のお子様に対してアセスメントを適切に行い、お子様と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、お子様の支援に関わる職員が共通理解の下で、お子様の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0		
	15	お子様の適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、お子様の支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0			
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0			
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0			
19	お子様の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0			
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0			
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	●翌日振り返りを行っています		
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0			
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0			
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	7	0			
25	お子様が自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのお子様の状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、お子様の下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定お子様園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0	●前例がありませんが、提供する体制はとれている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のお子様と活動する機会があるか。	4	4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	34	日頃からお子様の状況を保護者と伝え合い、お子様の発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		●こまめに聞き取りを行い、日々の課題について検討している。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、お子様や保護者の意思の尊重、お子様の最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、お子様や家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		●保護者の方の意見、お子さんの希望を聞き、お子さんの状況も考慮して計画を作成するように心がけている。お子さんの現状の共有やこちらの見立てを伝えることも意識している。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0		
	41	お子様や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、お子様や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をお子様や保護者に対して発信しているか。	8	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	44	障害のあるお子様や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のお子様の状況を確認しているか。	8	0		
	49	食物アレルギーのあるお子様について、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	お子様の安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、お子様や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0		

自事業所の強みと感じるどころ	自事業所の弱みと感じるどころ
<ul style="list-style-type: none"> ●保護者からの話等すぐ共有し、対応している。 ●話がしやすい雰囲気 ●保護者のニーズにそった支援計画を立てている。家、家族、事業所での意見交換が行われ連携されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●お子さんの年齢が上がるにつれて、療育に入るスタッフが固定化されてしまう。業務(引継ぎ、準備等)の非効率、支援計画の作成不足 ●利用時の様子共有が遅れることがある。 ●職員によって、持っているお子さんの情報量に偏りが出ることがある。
工夫しているところ	弱み・課題と感じている点の原因
<ul style="list-style-type: none"> ●意見を言いやすいように話を振っている。 ●子どもたちが参加しやすい内容の設定が行われている。子どもファーストだと思います。(無理はさせず、スモールステップを心がけていると思います。) 	<ul style="list-style-type: none"> ●同じスタッフとの1対1の関わりになることが多い。引継ぎの時間が長い。準備が当日となる。 ●利用人数が多い。すべての情報、細かい情報の周知に時間がかかる。
更に充実させるために必要なこと	
<ul style="list-style-type: none"> ●時間を効率的に使いながら、全体で話ができる場面を増やしていく。 ●今までと同じように引継ぎを行い、誰がどの子どもに入っても続いている支援を行ってほしいです。スタッフ間で一人ひとりの子どもについて情報共有していき、支援が充実したものになってほしいです。 	

公表)放課後等デイサービスにおける自己評価総括表

○事業所名	みずたま			
○保護者評価実施期間	令和7年10月1日		～	令和7年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	100	(回答者数)	51
○従業者評価実施期間	令和7年12月29日		～	令和8年2月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月1日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々のニーズ(お子様、ご家族)を聞きながら、サービスを提供することができている。	必要に応じて、個別で話をする時間を多く作りお子様の気持ちを十分に聞き取り、表出することができるように工夫している。	お子様の変化にスタッフ誰でも気づき、その都度ニーズに対応できるように、情報の共有や家族からの聞き取りなどを十分に行う。
2	お子様の特性に合わせて活動の設定をすることができるように心がけている。	学校終りの疲れた状況でも楽しく活動しながら学べるように、お子様の興味や社会性の段階などを考慮し、設定活動に活かしている。	集団活動で特性や興味が異なるお子様でも一緒に取り組めるように、活動の種類や幅を広げることができるように意見の交換したり、研修に行ったりする。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	営業時間の関係で、引継ぎが翌日になることから情報伝達が不十分になることがある。	情報の共有に時間が掛かりすぎている。時間の意識が足りない。	事業所全体での時間の意識をすることとすべきことや優先順位の共有
2			
3			

公表) 保育所等訪問 における自己評価結果

事業所名	みずたま	公表日	令和8年3月20日
------	------	-----	-----------

		チェック項目	評価		工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
			はい	いいえ		
環境・運営・体制	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	6	0	●実際、放デイデイ利用し本人のわかりやすいものを利用している。	●ものによっては、学校での活用が難しい場合もあるため検討が必要。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0		
適切な支援の提供	8	個々のお子様に対してアセスメントを適切に行い、お子様と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	6	0		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、お子様の支援に関わる職員が共通理解の下で、お子様の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	6	0		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	12	お子様の適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	6	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	6	0		
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのお子様の状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6	0		
	24	(自立支援)協議会子お子様部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	6	0		
	25	日頃からお子様の状況を保護者と伝え合い、お子様の発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	6	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、お子様や保護者の意思の尊重、お子様の最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、お子様や家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6	0		
	33	お子様や保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、お子様や保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をお子様や保護者に対して発信しているか。	6	0		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	36	障害のあるお子様や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	6	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	6	0		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	6	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	6	0		●足りてないことはある
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、お子様や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0		

自事業所の強みと感るところ	自事業所の弱みと感るところ
<ul style="list-style-type: none"> ●訪問先との連携がとりやすい ●日々の療育の内容を反映させられるところ 	<ul style="list-style-type: none"> ●訪問前の情報共有が不十分。予定や当日育職員の把握、目的等 ●訪問後、直接話をする時間がとれないこと。
工夫しているところ	弱み・課題と感じている点の原因
<ul style="list-style-type: none"> ●療育説明の際、保護者からの発信がなくても学校の様子を聞き取り必要な支援を検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●事前に予定や訪問に行く職員の相談・確認ができていない ●訪問後、直接話をする時間が取れない。その場合電話で連絡を取るようになっている。
更に充実させるために必要なこと	
<ul style="list-style-type: none"> ●直接のやりとりが必要な場合には、話ができる時間を事前にすり合わせておく 	

公表) 保育所等訪問支援 における自己評価総括表

○事業所名	みずたま		
○保護者評価実施期間	令和7年10月1日		~ 令和7年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 22	(回答者数) 14	
○従業者評価実施期間	令和7年12月29日		~ 令和8年2月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6	(回答者数) 6	
○訪問先施設評価実施期間	令和7年12月29日		~ 令和8年2月26日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数) 6	(回答数) 6	
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々の聞き取りから支援計画に反映しているため、日々の療育での取り組みが訪問支援先でも反映させることができる	療育利用の際、保護者からの発信がなくても学校の様子を聞き取り、保護者と必要な支援を検討している	都度学校側からの情報も確認し、療育での内容と併せて、訪問時の支援を事前に検討していく
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問の日程調整が訪問日の直近になることが多い 行事などの把握ができておらず、訪問支援員が急に行くことになる ことがある	計画的な日程調整ができていない	日々聞き取りをしていく上で、行事やイベント等の予定の把握も含め、保護者と相談し、調整していく
2			
3			

公表) 児童発達支援 における自己評価結果

事業所名		みずたま				公表日		令和8年3月20日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0					
	2	利用定員やお子様の状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0					
	3	生活空間は、お子様にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2		●トイレが和式しかない。車椅子使えない			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、お子様達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2		●最大限清潔にはしているが			
	5	必要に応じて、お子様が個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0		●時には、個室が使えないことも			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0					
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0					
	12	個々のお子様に対してアセスメントを適切に行い、お子様と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、お子様の支援に関わる職員が共通理解の下で、お子様の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0					
	15	お子様の適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、お子様の支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0					

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		●支援内容によっては、同じ活動が続くこともある
	19 お子様の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1		
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのお子様の状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定お子様園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		
	28 (28～30は、センターのみ回答)	0	0	/	/
	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	0	0		
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	0	0		
	30 (自立支援)協議会お子様部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	0		
	31 (31は、事業所のみ回答)	5	0	/	/
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	0		
32 保育所や認定お子様園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のお子様と活動する機会があるか。	4	2		●法入行事や外出療育	
33 日頃からお子様の状況を保護者と伝え合い、お子様の発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0			
34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0			
保護者への	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
の 説 明 等	36	児童発達支援計画を作成する際には、お子様や保護者の意思の尊重、お子様の最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、お子様や家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0		
	40	お子様や保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、お子様や保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をお子様や保護者に対して発信しているか。	6	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	43	障害のあるお子様や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0		
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のお子様の状況を確認しているか。	6	0		
	48	食物アレルギーのあるお子様について、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	50	お子様の安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、お子様や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
自事業所の強みと感じるところ			自事業所の弱みと感じるところ		
<ul style="list-style-type: none"> ●人数が少ない分、個別に関われる時間が長い。 ●時間が少しずつずれていることで、子ども同士で関われる人が以前よりおおくなくなったところ 			<ul style="list-style-type: none"> ●お子さんだけの設定活動が取り組みにくい。 ●寒い。足が痛い。 		
工夫しているところ			弱み・課題と感じている点の原因		
<ul style="list-style-type: none"> ●活動内容を変えたり、展開させたりしながら、いろんな場面でお子さんと関われるようにしている。 ●それぞれが働きやすい場へ職員配置されている？ 			<ul style="list-style-type: none"> ●児発の利用時間はお子さんが少ない。 ●量?たまたみだから?たても、コンクリだから?暖房ききにくい...?すきま?わかりません。 		
更に充実させるために必要なこと					
<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き様々な活動を設定していく。スタッフ複数人で集団活動を設定していく。 					

公表) 児童発達支援事業 における自己評価総括表

○事業所名	みずたま			
○保護者評価実施期間	令和7年10月1日		～	令和7年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数)	0
○従業者評価実施期間	令和7年12月29日		～	令和8年2月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用人数が少ないため、個別に合わせた活動を設定できる。	小学校入学に向けて、お子様、ご家族ともに不安を軽減することができるように丁寧に聞き取りをしている。	年長のお子様の利用が主であるため、それぞれの学校の情報を十分に得ることでスムーズな移行につなげていく。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用人数が少ないことで、小集団活動の設定が難しいことがある。	人数が少なく小集団の活動設定ができない場合は、スタッフがこども役をするなどして友だちとのやりとりを意識して取り組むことができるように設定している。	安定して利用者を確保し、必要な支援を提供することができるように広報活動に努める。また、必要に応じて他事業所とも協力しながら設定活動なども検討していく。
2			
3			